

Contents

特集：韓国新大統領と朝鮮半島情勢	1p
<今週の”The Economist”から>	
"The bumpy road ahead" 「前方に悪路注意」	6p
<From the Editor> 「アンケートにご協力を」	7p

特集：韓国新大統領と朝鮮半島情勢

今週の2月25日、就任式を行った韓国の盧武鉉新大統領に注目してみました。最近の朝鮮半島では、地下鉄放火事件、領空侵犯など物騒な事件が相次ぎ、さらには北朝鮮が地对艦ミサイルを打ち上げるといふ「とんだ祝砲」（小泉首相）が加わり、とどめは黒鉛減速炉の再稼働。新大統領にとっては波乱の船出となりました。

あらためて、朝鮮半島をめぐる安全保障と経済の両面を点描してみたいと思います。

韓国大統領選挙の問題点

韓国の大統領制度（任期5年）は、米国のそれと似たところがある。トップが代わると、その下の人材がごっそり入れ替わり、政策もがらりと変わる。文字どおり「政権の不連続性」が生じるのである。逆に言えば、日本のようにトップが代わっても政治が変わらない国の方がめずらしいわけだが、韓国の政治情勢を振り返ると、ほとんど「5年に1度革命が起こる」ほどの過激さである。

そんな韓国も、80年代までは事実上の軍事政権が続いていた。87年に選挙で盧泰愚が選ばれ、92年に文民出身の金泳三が当選し、97年には元反体制派の金大中が当選した。そして2002年選挙は、蓋を開けるまで分からない大接戦となり、1年前までは皆が思ってもみなかったような候補者が、急速に支援の輪を広げて当選した。まるで米国大統領選挙の「バンドワゴン現象」を見るようで、民主化の定着という点では、過去20年間に大きな前進があったといえるだろう。しかも2002年選挙では、最後はネットを通じた応援が勝利の鍵となったというから、ある意味日本より進んでいる面もある。

その一方、韓国の政治風土においては、前大統領は石持て追われ、どうかすると投獄されたりもする。金大中前大統領も、任期中に息子が汚職で逮捕されたり、政権末期になって北朝鮮への不正送金が発覚するなど、同じ道をたどりそうな予感が漂っている。

アジア特有のネポティズムもさることながら、再選を認めないという憲法上の制約による弊害ではないかと筆者はにらんでいる（米国のシステムとはここが決定的に違う）。歴代の韓国大統領を見ると、最初の2年くらいは指導力を発揮できるが、最後の1年ともなると見事にレイムダック化する。金大中のケースを振り返ってみても、98年の就任以来、アジア危機の克服から対日関係の改善、ノーベル平和賞受賞、そして2000年6月には南北首脳会談の実現と、前半戦は非常に立派な業績をあげている。ところが後半戦は、ほとんど見る影もなかった。現在の制度が続く限り、韓国政治における5年周期のバイオリズムは失われない公算が大である。

それが見えているために、大統領の任期が残り少なくなると、「次の政権が誕生するのを待ってから行動しよう」という人が増えて、文字どおり政治が停滞する。

その典型的な例が日韓F T Aだ。1998年10月、金大中の訪日を契機に、両国間で日韓経済関係に関する共同研究会が設置された。日本側はジェトロ、韓国側は対外経済政策研究院が取り組み、2000年5月にはすでに共同報告が完成していた。さらに民間でも日韓ビジネスフォーラムが開催された。さらに屋上屋を重ねるように、2002年3月の日韓首脳会談では、あらためて日韓F T Aに関する産官学研究会の設置を決めた。

なぜこんな二度手間、三度手間をしたかといえば、おそらく日本政府側に、「次は野党の李会昌が大統領になるだろう。そうなると前政権の政策は放棄される恐れがある。急いで仕事を始めると損をする」という計算が働いたからであろう。日韓F T Aはこれから速攻で交渉が進むだろうが、締結の目処となっているのは2005年。順当に行っても、98年のキックオフから足掛け8年のロングラン交渉となってしまう。

盧武鉉新大統領の課題

そのように考えると、盧武鉉新大統領としても向こう2年間ぐらいが勝負どころとなる。政権発足時こそは「全国民から選ばれた」事実は重いけれども、時間がたつほどに求心力は失われていく。業績を残すならなるべく早いうちである。

さて、盧武鉉大統領の主要な政策は以下の通り。

- ・北朝鮮に対する太陽政策の継続
- ・米国に対する慎重な態度
- ・北東アジアにおける経済中心国家の建設（ハブ構想）
- ・経済は年7%成長を掲げつつ、弱者・低所得者に配慮（成長と分配の均衡）
- ・財閥改革の継続
- ・新しい労使協調モデルの構築

幸い、今の韓国の国内経済はかなり良い状態だ。2002年のGDP成長率は6.2%（予想）。失業率も3.0%と1997年の水準まで改善した。98年の「IMF時代」には7.9%まで悪化したことを思えば、隔世の感がある。97年末には枯渇したといわれる外貨も、2003年1月末現在で1229億ドルとなり、世界第4位の水準に達している。

韓国がアジア危機を脱した理由として、構造改革やIT政策の成功がよく強調される。それらはけっして過小評価する必要はないのだが、筆者はむしろ「ウォン安」と「米国のハイテクバブル」という神風が吹いた効果の方が大きかったのではないかと思う。韓国経済は99年に10.9%、00年に9.3%という高成長を達成し、その後は01年には3.0%と調整過程に入る。韓国経済はとにかく外需依存度が高いのである。

しかし、02年からは、「中国バブル」という新たな神風が吹き始めたようだ。中国経済の8%成長の快進撃により、対中貿易の拡大が韓国経済の新たな牽引役となっている。そして昨今の中国経済の勢いを考えれば、この風はしばらく吹き続けるだろう。

念のために言っておくと、中国からの神風は日本に向かっても吹いている。日本の対中輸出は2000年+23.2%、01年+14.9%、02年+32.3%という勢いで伸びている。これは対中輸入の伸びを上回っており、GDPに対する寄与度はプラスである。ただし日本経済は韓国経済の約10倍の規模があり、この程度の風だけで浮揚させることは難しいのが現実だ。

韓国経済の行方は、原油高の影響などもあって順風満帆とまではいえないものの、今年も5%程度の成長が見込まれている。新大統領の課題は、やはり国内より対外関係といえよう。

盧武鉉は反米か？

新大統領の力量を不安視する声は少なくない。が、衆目の一致するところ、最大の不安は盧武鉉が反米ではないか、という点にある。そもそも昨年12月の大統領選挙の中心テーマが、親米か反米かであった。米軍の装甲車事故で2人の韓国人女子中学生が死亡しなければ、また加害者の米軍兵士が無罪にならなければ、盧武鉉が当選することもなく、順当に親米派の李会昌が大統領に就任していた可能性は高い。

思えば韓国では、反米感情を煽るような事件がずっと続いていた。2002年のソルトレークシティ冬季五輪での判定問題や、ワールドカップでの米韓決戦は記憶に新しいし、ブッシュの「悪の枢軸」発言は、同胞である北朝鮮をいたく侮辱するものであった。また少しさかのぼると、IMF統治期間のリストラ体験も反米意識を高めていたはずだ。

そして何より、朝鮮戦争以後、ずっと駐留している3万7000人の在韓米軍の存在がある。ステータスは今でも国連軍であり、有事の際には米軍が韓国軍を指揮することになる。冷戦時代以来のこういう構造自体が、すでに時代遅れになっている感は否めない。IMF時代以降、韓国はいろんな場所で世代交代が進み、若い世代が社会の中心に躍り出ている。彼らに冷戦時代の記憶は希薄であり、「米軍のありがたみ」は存在しないも同然だ。

その点、盧武鉉はもともと「反米」が売りであった。弁護士として働いていた1982年、盧武鉉はプサンで発生した米国文化院火事事件の被告側弁護人を務めている。当時はまだ全斗煥の軍事政権時代だったことを考えれば、大変な度胸といえる。政治家になってからも、米国には1度も行ったことがない。大統領候補になってからも、「ワシントン詣で」をしなかった。

盧武鉉は2002年9月、「米国に行ったことがない、ということは反米主義者を意味するのか。もしそうなら、反米主義者でもいいのではないか」と語ったことがある。以前であればタブーとなったようなことを堂々と口にしたことで、「2030世代」（20代から30代の若者）の共感を呼んだという¹。

さらに次期大統領に決まった後も、昨年12月30日には、「在韓米軍について、米国が自ら縮減するという戦略を立てたことがある。米国の国防戦略によって縮減の話が出たり、それが打ち切りになったりする」と堂々と米軍撤退に言及する。これでは米国側も、内心穏やかではなくなる。本誌の2月14日号「悩ましき北朝鮮への対応」でも触れたように、在韓米軍の存在は米国にとっても微妙なものになってしまっているのだから。

明けて1月13日、ケリー米国務次官補と会談した盧武鉉は、「韓米同盟関係は過去も大切だったし、現在も大切で、未来にも重要だろう」と述べた。さらに在韓米軍司令部を訪問し、米軍駐留の重要性を強調した。さすが苦労人だけに、この辺の柔軟性はさすがだが、こうした「にわか仕込みの親米」は、疑う人もいれば嫌う人もいるだろう。

次のチェックポイントは盧武鉉大統領がいつ訪米するか。人の好き嫌いの激しいブッシュが、自分と同じ年齢の苦労人をどう見るかが見物である。

金正日の祝砲の意図

さて、盧武鉉大統領の就任式は、北朝鮮のミサイル発射というおまけ付きとなった。本誌の2月14日号でも書いた通り、今回の核開発問題で北朝鮮は1993年と同じコースをたどっている。それが図らずも裏付けられた形となった。案の定、金正日は、みずからの「初陣」として強烈な印象が残っている93年の成功体験を、繰り返そうとしている形跡がある。

93年と03年の比較

1993年	2003年
2月 9日：I A E Aが特別査察要求	1月 6日：I A E Aが核の完全放棄を求める
3月12日：N P T脱退表明	1月10日：N P T脱退
5月11日：安保理決議	2月12日：I A E Aが安保理に付託
5月29日：ノドン1号を試射実験	2月25日：シルクワーム発射
6月 2日：米朝高官協議	???
6月11日：N P T脱退を棚上げ	

¹ 「反米と親米の間 盧武鉉新大統領」Michael Yoo（経済産業研究所）から

実際にはノドンやテポドンではなく、射程の短いミサイルとなったが、これは牽制球だからであろう。安保理が経済制裁などを打ち出すようなら、次はテポドンかもしれないよ、というシグナル。しかし米国はイラク問題に忙殺されている。訪韓していたパウエル国務長官は黙殺の構えだったが、その直後に北朝鮮は黒煙減速炉を再稼働させた。おそらく米国の譲歩が得られるまで、北朝鮮は小刻みにこの手のきな臭い動きを繰り返すだろう。

シルクワームには、盧武鉉大統領就任式への「名刺代わり」という意味合いも含まれているのかもしれない。ちょっと脅しておいて、その次にふっと安心させるような拳に出てくる。そうやって韓国側のハートをつかむというのは、金正日が過去に何度も使った手口である。

鍵は日米韓の連携にあり

今となっては、金大中の太陽政策は失敗だったと断じてもいいだろう。だが太陽政策も、政権発足当初は機能したのである。金大中は訪米、訪日を相次いで成功させ、日米韓の「パースナル同盟」路線を明確にした。北東アジアにおいて、「日米韓」は最強の組み合わせだ。その上で北朝鮮に呼びかけたから、金正日も乗ってきたのである。ところが2000年に南北首脳会談をやって、金正日に「朝鮮半島問題は同胞の手で解決を」と言われると、金大中はすっかりその気になってしまったらしい。米国や日本と離れてしまえば、北は遠慮なく経済援助だけを頂戴することができる。結局、終わってみれば北の譲歩はほんのわずかだった。つまり、北の金さんが南の金さんより一枚上手だったというのが、過去5年間の総括となる。

新大統領にとっての教訓は、「朝鮮半島問題は南北間だけでは解決できない」こと、そして「米国と日本との連携が重要」ということに尽きる。

そこで米国の対北朝鮮政策はどうなるかといえば、極端な話、イラク問題が終わってみなければ分からない。

たとえば今後、安保理での第二決議が取れた上で武力行使となれば、パウエル国務長官は大いに面目を施し、ブッシュ政権内の発言力を維持するだろう。この場合、北朝鮮問題は多国間の外交努力で、ということになる。クリントン時代の妥協を繰り返すようで、ブッシュとしては釈然としないだろうが、日本や韓国としてはほっと一安心である。

逆にフランスやロシアの反対で決議が取れず、米国の単独攻撃（その場合も英国などは参加するだろうが）となれば、パウエルは失脚同然となり、ブッシュ政権は昨年夏以前のタカ派路線に回帰するはずだ。この場合、伝統的保守主義者のラムズフェルド国防長官は「在韓米軍の撤退」を口にしようだし、逆にネオコン派のウォルフオビッツ国防副長官あたりは「空爆による核関連施設の破壊」を主張するだろう。

結局、米国にとって北朝鮮政策は選択肢が多過ぎる。「決定はイラクの後で」とならざるを得ないだろう。

< 今週の”The Economist”から >

”The bumpy road ahead”

February 22nd 2003

「前方に悪路注意」

Asia

* 今週、25日に韓国大統領に就任したノムヒョン氏ですが、”The Economist”誌によれば、
「新大統領にハネムーンなし」とのこと。もっともですね。

< 要約 >

5年前、金大中が大統領に就任したときはアジア危機のさなかであった。破産に瀕した韓国は、IMFからの巨額な資金を得る必要があった。危機と取り組むために、厳しい経済改革とリストラ計画を導入することが、金政権の大半を支配していた。

その後継者、盧武鉉は別の危機に直面している。北朝鮮の核への野望、南に対する領空侵犯、そして2月18日に生じた驚くべき地下鉄火事などである。放火によるものだが、消化装置の不備や電源を切ったことが被害を大きくした。盧は就任式を縮小すると言っているが、韓国の交通機関の安全性に関するスキャンダルを掌握する必要があるだろう。

もうひとつのスキャンダルは、2000年の金正日との会談のために支払われた不明金である。金大中と同じ党の盧は、本件は司法ではなく立法府で扱うと示唆して非難を浴びている。そして何より、盧は反米主義の高まりに直面し、最重要同盟国との関係を複雑にしている。

数ある問題の中でも、対米関係は喫緊の課題であろう。昨年6月に起きた訓練中の装甲車事故で女子中学生2人が死亡した件で、米兵2人が11月に無罪になると、国民感情は沸騰した。抗議の声は、3万7000の在韓米軍における法的地位の見直しを要求している。さらに過激なグループは米軍の半島からの完全撤退を要求している。

抗議の声は盧が李候補を破るのに役立った。盧自身もかつては米軍撤退を要求していた。現在では違う見方をしていると言うが、それでも「均衡の取れた」米韓関係を望んでいる。

昨年12月に大統領選挙で勝利してから、盧と側近たちはイメージの刷新を図っている。対立候補は盧を急進派で、反米、反大企業、組合寄りだと称した。支持者たちは、それは誤解であり、「彼はあまりよく知られていない」と言う。盧はこれまで訪米したことがない。「反米ではない」と言うものの、先月、北朝鮮に対する経済制裁には強く反対した。北に対する軍事攻撃は許されないとやった。米国はその可能性を排除していないが。

盧とそのグループは、国内の批判のみならず、海外の評判をも気にかけている。次期大統領は在韓米軍司令部を訪問し、過去半世紀にわたる同盟の重要性を語った。米と欧の商工会議所主催の会合で、経済改革路線を継続する約束した。外国メディアの取材にも応じている。

盧の政権移行チームは計画を立案中だ。主目的は韓国社会の統合である。地域バランスや貧富の差、腐敗との戦い、自由で公平な市場システムなどである。仕事は膨大だが、盧は前任者同様に議会の多数派を敵に回しており、早くとも来年後半まではそれを変えられない。年齢と学歴が物を言う社会で、56歳で大学も出ていない盧は存在自体が型破りだ。しかし彼が盛り上げた期待に応えることは難しい。盧の大統領への道は易しいものではない。

< From the Editor > アンケートにご協力を

大型商品を買った後などに、アンケート用紙がついてくることがよくあります。面倒なものが多いのですが、下記のようなものであれば、ついつい記入した上に集計結果も見たくありませんね。それではよろしくご協力ください。宛先は株式会社ペンタゴンらしいです。

Thank you for purchasing our military aircraft. In order to protect your new investment, please take a few moments to fill out the warranty registration card below. Answering the survey questions is not required, but the information will help us to develop new products that best meet your needs and desires.

1. About You

Mr. Mrs. Ms. Miss Lt. Gen. Comrade Classified Other
First Name:.....Initial:..... Last Name.....
Password: (max. 8 char) Code Name:.....
Latitude-Longitude-Altitude:

2. Which model of aircraft did you purchase?

B-2 Strategic Bomber Su-35 at special discount Mirage A-5
 F-117A Stealth with 0% finance until 2004 U-2 Reconnaissance Aircraft
 B-52 at final sold-out sales Classified

3. Date of purchase (Year/Month/Day): 2003/.../....

4. Serial Number:

5. Please indicate where this product was purchased:

Received as gift / aid package Catalogue / showroom
 Independent arms broker Mail order Discount store
 Government surplus Classified

6. Please indicate how you became aware of our product you have just purchased:

Heard loud noise, looked up Store display Espionage
 Recommended by friend / relative / ally
 Political lobbying by manufacturer Was attacked by one

7. Please indicate the three (3) factors that most influenced your decision to purchase our product:

Style / appearance Speed / manoeuvrability Price / value
 Comfort / convenience Kickback / bribe
 Recommended by salesperson Reputation of our company
 Advanced Weapons Systems Backroom politics
 Negative experience opposing one in combat

8. Please indicate the location(s) where this product will be used (as many as you can):

North America Iraq South America Iraq Aircraft carrier
 Iraq Europe Iraq Middle East Iran Africa
 Iraq Asia / Far East Iraq Misc. Third World countries
 Iraq Korean Peninsula Classified

9. Please indicate the products that you currently own or intend to purchase in the near future:

- Color TV VCR ICBM Killer Satellite CD Player
 Air-to-Air Missiles Space Shuttle (SORRY, NOW OUT OF STOCK)
 Home Computer Nuclear Weapon Bio or Chemical Weapon

10. How would you describe yourself or your organization?

- Communist / Socialist Terrorist Crazy Neutral Democrat
 Dictatorship Corrupt Primitive / Tribal

11. How did you pay for our product?

- Deficit spending Cash Congress Military Committee
 Suitcases of cocaine Oil revenues Shredded accounting documents
 Credit card fraud Ransom money Stock option

12. Your occupation:

- Peacemaker Sales / marketing Revolutionary
 Clerical Mercenary Tyrant Middle management civil servant
 Eccentric billionaire Defense Minister / General Retired Student

13. To help us better understand our customers, please indicate the interests and activities in which you and your spouse enjoy participating on a regular basis:

- Golf Sailing /bombing Sabotage Running / jogging
 Propaganda / misinformation De-stabilization / overthrow
 Default on loans Gardening Hide & Seek
 Black market / smuggling Collectibles / collections
 Watching sports on TV Wines Pretzel
 Interrogation / torture Household pets Crushing rebellions
 Espionage / reconnaissance IAEA inspections Border disputes
 Mutually Assured Destruction

Thank you for taking the time to fill out this questionnaire. Your answers will be used in market studies that will help us serving you better in the future - as well as allowing you to receive mailings and special offers from other companies, governments, extremist groups, and mysterious consortia. As a bonus for responding to this survey, you will be registered to win a brand new F-117A in our Desert Thunder Sweepstakes!

Is there any comments or suggestions about our fighter planes?

Please write to: PENTAGON INC. Marketing Department, Military Aerospace Division

IMPORTANT: This email is intended for the use of the individual addressee(s) named above and may contain information that is confidential privileged or unsuitable for overly sensitive persons with low self-esteem, no sense of humor or irrational religious beliefs.

編集者敬白

- 本レポートの内容は担当者個人の見解に基づいており、日商岩井株式会社および株式会社日商岩井総合研究所の見解を示すものではありません。ご要望、問い合わせ等は下記にてお願いします。

〒135-8655 東京都港区台場 2-3-1 <http://www.niri.co.jp>

日商岩井総合研究所 吉崎達彦 TEL:(03)5520-2195 FAX:(03)5520-2183

E-MAIL: yoshizaki.tatsuhiko@nisshoiwai.com